

勉誠社

日本語学会／日本方言研究会 会員様対象

特別割引のご案内

全 点 **20%OFF**

割引クーポンコード: 82f8a3ead0
(使用期限: ~2023年12月31日)

謹啓

日頃より弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
このたび、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。
当リストの新刊書籍をはじめ、勉誠社・勉誠出版タイトル全品が対象となります。
この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: **82f8a3ead0** (期限: ~2023年12月31日)

※割引クーポンコードを、必ずご入力ください!

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費／私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。
- ・3000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス (※海外への配送に関しては、実費を頂戴します)

*ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
日本語学会／日本方言研究会の会員であることをお知らせください。

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。



●ご連絡先

Mail info@bensei.jp
電話 03-5215-9021
FAX 03-5215-9025

書名	編著者名	刊行年月	ISBN	本体価格	割引価格 (税込)	ご注文
重要文化財 東福寺五百羅漢図 修理と研究	石川登志雄 編	202310	37010	22,000	19,400	
日本人の読書	佐藤道生 著	202309	39033	12,000	10,600	
日本と東アジアの〈環境文学〉	小峯和明 編	202307	39018	15,000	13,200	
紫式部集の世界	廣田收・横井孝 編	202307	39031	9,800	8,600	
地方史誌から世界史へ	小二田章 編	202306	32028	8,000	7,000	
朝川図と蘭亭曲水図	野田麻美・静岡県立美術館 編	202305	37009	9,500	8,400	
方言地理学の視界	小林隆・大西拓一郎・篠崎晃一 編	202305	38003	8,000	7,000	
江戸時代の貸本屋	長友千代治 著	202305	39029	5,000	4,400	
杜甫研究年報 第六号	日本杜甫学会 編	202304	39446	3,000	2,600	
文と書	亀澤孝幸 著	202303	37008	8,000	7,000	
深草瑞光寺所蔵 元政上人資料集	岡雅彦・落合博志・桑名法児・長田和也・中前正志・那須陽一郎・原雅子・村木敬子 編	202303	31013	20,000	17,600	
俊頼脳髓全注釈	冢永香織・小野泰史・鹿野しのぶ・館野文昭・福田亮雄 著	202303	39025	15,000	13,200	
江戸時代前期出版年表〔万治元年～貞享五年〕	岡雅彦 編	202303	32029	32,000	28,200	
伝承と現代	加藤秀雄 著	202302	33004	8,000	7,000	
宣教師の日本語文学 研究と目録	郭南燕 編著	202302	39026	11,000	9,700	
源氏物語歌篋	伊東祐子 著	202302	39017	6,500	5,700	
鎌倉時代禅僧喫茶史料集成	館隆志 著	202302	31014	13,500	11,900	
王朝物語論考	横溝博 著	202302	39024	12,000	10,600	
新羅政治社会史研究	武田幸男 著	202212	32024	12,000	10,600	
古文書研究 第94号	日本古文書学会 編	202212	32404	3,800	3,300	
知識インフラの再設計	数藤雅彦 責任編集	202211	30301	3,200	2,800	
慈円『法華要文百首』全釈	石川一 編	202211	39016	9,000	7,900	
和漢朗詠集とその享受 増訂新版	三木雅博 著	202210	39012	15,000	13,200	
公文書管理法時代の自治体と文書管理	宮間純一 編	202210	30008	6,000	5,300	
調べ物に役立つ 図書館のデータベース	小曾川真貴 著	202208	30006	1,800	1,600	
論究日本近代語 第2集	日本近代語研究会 編	202203	38522	15,000	13,200	
地域文化の可能性	木部暢子 編	202203	32015	2,700	2,400	
慶應義塾図書館蔵 論語疏卷六						
慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵 論語義疏 影印と解題研究	慶應義塾大学論語疏研究会 編	202111	31004	18,000	15,800	
書物・印刷・本屋	藤本幸夫 編	202106	30002	16,000	14,100	
ベトナム語空間ダイクシスとその展開	安達真弓 著	202105	38001	10,000	8,800	
日本語文字論の挑戦	加藤重広・岡端裕剛 編	202103	38000	7,000	6,200	
コーパスと近代日本語書き言葉の一人称代名詞の研究	近藤明日子 著	202102	28052	8,500	7,500	
龍谷大学図書館蔵 黒谷上人語燈録 元亨版 翻刻および総索引	佐々木勇 主編	202004	28050	18,000	15,800	
サハ語文法	江畑冬生 著	202004	28049	9,800	8,600	
論究日本近代語 第1集	日本近代語研究会 編	202003	28521	15,000	13,200	
日本書紀声点本の研究	鈴木豊 著	202003	28048	14,000	12,300	
漱石文体見本帳	北川扶生子 著	202001	29189	2,800	2,500	
近世後期テニヲハ論の展開と活用研究	遠藤佳那子 著	202001	28047	8,000	7,000	
国宝 漢書楊雄伝 第五十七	京都国立博物館 原本所蔵、編 石塚晴通・上杉智英・小助川貞次 解説	201912	28046	35,000	30,800	
文化情報学事典	村上征勝 監修 金明哲・小本曾智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 編	201912	20071	15,000	13,200	
ライブラリーぶっくす 専門図書館探訪	青柳英治・長谷川昭子 共著/専門図書館協議会 監修	201910	20070	2,000	1,800	
カピタン 最後の江戸参府と阿蘭陀宿 歩く、異文化交	片桐一男 著	201907	22,244	6,000	5,300	
戦国日本のキリシタン布教論争	高橋裕史 著	201905	22236	4,600	4,000	
戦国大名の海外交易	鹿毛敏夫 著	201904	22229	8,500	7,500	
平安時代における変体漢文の研究	田中草大 著	201902	29172	8,000	7,000	
隠れキリシタンの布教用ノート 吉利支丹抄物 影印・翻刻・現代語訳	大塚英二 編	201901	22230	10,000	8,800	
国宝 小川本 真草千字文	小川雅人 原本所蔵/石塚晴通・赤尾崇慶 編	201811	27049	25,000	22,000	
出島遊女と阿蘭陀通詞 日蘭交流の陰の立役者	片桐一男 著	201805	22197	3,600	3,200	
江戸・東京語の否定表現構造の研究	許哲 著	201805	28041	7,800	6,900	
中世古今和歌集注釈の世界						
毘沙門堂本古今集注をひもとく	人間文化研究機構 国文学研究資料館 編	201803	29158	13,000	11,400	
日本語程度副詞体系の変遷 古代語から近代語へ	田和真紀子 著	201705	28033	6,000	5,300	
思想史のなかの日本語 訓読・翻訳・国語	中村春作 著	201705	21041	2,800	2,500	
山田孝雄著『日本文体の変遷』本文と解説	藤本灯・田中草大・北崎勇帆 編	201702	28032	4,500	4,000	
漢字字体史研究 二 字体と漢字情報	石塚晴通 監修/高田智和・馬場基・横山詔一 編	201611	28029	8,000	7,000	
『色葉字類抄』の研究	藤本灯 著	201603	28023	15,000	13,200	
日本古典漢語語彙集成	柏谷嘉弘・鶴岡昭夫 編	201511	28022	75,000	66,000	
東洋文庫善本叢書10 天正十八年本 節用集	公益財団法人 東洋文庫 監修/豊島正之 解題	201509	28210	38,000	33,400	
明恵上人夢記 訳注	奥田勲・平野多恵・前川健一 編	201502	21024	8,000	7,000	
東洋文庫善本叢書2						
重要文化財 ドチリーナ・キリシタン 天草版	公益財団法人 東洋文庫 監修/豊島正之 解題	201409	28202	14,000	12,300	
近代日本語と文語文 今なお息づく美しいことば	三浦勝也 著	201406	28014	2,500	2,200	
京都国立博物館所蔵 国宝 浄名玄論	京都国立博物館 編/石塚晴通・赤尾崇慶 解題	201404	22073	100,000	88,000	

	日本語史の新視点と現代日本語	小林賢次・小林千草 編	201403	28011	13,000	11,400
	京都国立博物館所蔵 国宝 吉田本 日本書紀	京都国立博物館 編/石塚晴通・羽田聡 解題	201402	22072	100,000	88,000
	京都国立博物館所蔵 国宝 岩崎本 日本書紀	京都国立博物館 編/石塚晴通・赤尾栄慶 解題	201401	22071	35,000	30,800
	国宝 西大寺本 金光明最勝王經 天平宝字六年百濟豊虫願經	総本山西大寺 編/佐伯俊源・月本雅幸・野尻忠 解題	201309	28505	100,000	88,000
在庫僅少	キリシタン版 日葡辞書 カラー影印版	オックスフォード大学ボードレイアン図書館 所蔵 月本雅幸 解題	201301	20014	100,000	88,000
	漢字字体史研究	石塚晴通 編	201211	28008	8,000	7,000
	漢文訓読と近代日本語の形成	齋藤文俊 著	201102	10451	7,500	6,600
	書誌学入門 古典籍を見る・知る・読む	堀川貴司 著	201004	20001	1,800	1,600
在庫僅少	改訂新版 古本節用集六種 研究並びに総合索引	中田祝夫 著	200905	03237	43,000	37,800
在庫僅少	改訂新版 文明本節用集 研究並びに索引	中田祝夫 著	200605	03152	41,000	36,100
在庫僅少	改訂新版 書言字考節用集 研究並びに索引	中田祝夫・小林祥次郎 著	200605	03153	30,000	26,400
在庫僅少	図書寮本 類聚名義抄	築島裕 解説/橋本不美男・宮澤俊雅・酒井憲二 索引	200505	03139	20,000	17,600
在庫僅少	仮名遣及仮名字体沿革史料	大矢透 著/中田祝夫・峰岸明 解説索引	200505	03138	18,000	15,800
オンデマンド版						
	日韓漢文訓読研究 (オンデマンド版)	藤本幸夫 編	202211	88015	10,000	8,800
	続「訓読」論 (オンデマンド版)	中村春作・市來津由彦・田尻祐一郎・前田勉 編	202211	88001	6,000	5,300
	「訓読」論 (オンデマンド版)	中村春作・市來津由彦・田尻祐一郎・前田勉 共編	202211	83184	4,800	4,200
	近代日本語の形成と欧文直訳的表現 (オンデマンド版)	八木下孝雄 著	202208	88040	6,500	5,700
	増補改訂 古代日本人と外国語 (オンデマンド版)	湯沢賢幸 著	202207	84074	2,800	2,500
	近代日本語教科書語彙索引 (オンデマンド版)	伊藤孝行 編	202207	88002	8,000	7,000
アジア遊学						
	東アジアの「孝」の文化史	雫雪艶・黒田彰 編	202310	32534	3,200	2,800
	書物の時代の宗教	岸本覚・曾根原理 編	202309	32533	2,800	2,500
	渾沌と革新の明治文化	井上泰至 編	202308	32531	2,800	2,500
	近代アジアの文学と翻訳	波瀾剛・西横偉・林信蔵・藤原まみ 編	202308	32532	3,000	2,600
	近世日本のキリシタンと異文化交流	大橋幸泰 編	202307	32530	2,800	2,500
	列島の中世地下文書	春田直紀 編	202305	32528	3,000	2,600
	神道の近代	伊藤聡・斎藤英喜 編	202303	32527	3,200	2,800
	吳越国 10世紀東アジアに華開いた文化国家	瀧朝子 編	202210	32521	3,200	2,800
	「唐物」とは何か	河添房江・皆川雅樹 編	202210	32520	2,800	2,500
書物学						
	書物学 第24巻 100年くらい前の本づくり	編集部 編	202308	30723	2,000	1,800
	書物学 第23巻 文化財をつなぐひと・もの・わざ	編集部 編	202304	30724	1,800	1,600
	書物学 第22巻 禅寺の学問	編集部 編	202302	30722	1,800	1,600
	書物学 第21巻 活字	編集部 編	202212	30721	1,800	1,600
	書物学 第20巻 追憶のサムライ	横浜市歴史博物館 編	202210	30720	1,800	1,600
	書物学 第19巻 紙のレンズから見た古典籍	編集部 編	202202	30719	1,800	1,600
	書物学 第18巻 蔵書はめぐる	編集部 編	202007	20718	1,800	1,600
	書物学 第17巻 編集文献学への誘い	編集部 編	201909	20717	1,500	1,300
	書物学 第16巻 特殊文庫をひらく 古典籍がつなく過	編集部 編	201907	20716	1,500	1,300
	書物学 第15巻 金属活字と近代	編集部 編	201904	20715	1,500	1,300
	書物学 第14巻 贋作・偽作	編集部 編	201812	20714	1,500	1,300
	書物学 第13巻 学問の家の書物と伝授 清原家の営為	編集部 編	201808	20713	1,500	1,300
	書物学 第12巻 江戸初期の学問と出版	編集部 編	201802	20712	1,500	1,300
	書物学 第11巻 語りかける洋古書	編集部 編	201708	20711	1,500	1,300
	書物学 第10巻 南方熊楠生誕150年	編集部 編	201703	20710	1,500	1,300
	書物学 第9巻 江戸の欲望/江戸という欲望	編集部 編	201610	20709	1,500	1,300
	書物学 第8巻 国宝 称名寺聖教/金沢文庫文書	編集部 編	201608	20708	1,500	1,300
	書物学 第7巻 医書の世界	編集部 編	201603	20707	1,500	1,300
	書物学 第6巻 「書」が語る日本文化	編集部 編	201511	20706	1,500	1,300
	書物学 第5巻 洋古書の愉悅	編集部 編	201507	20705	1,500	1,300
	書物学 第4巻 出版文化と江戸の教養	編集部 編	201502	20704	1,500	1,300
	書物学 第3巻 書物とエロス	編集部 編	201408	20703	1,500	1,300
	書物学 第2巻 書物古今東西	編集部 編	201405	20702	1,500	1,300
	書物学 第1巻 書物学こと始め	編集部 編	201403	20701	1,500	1,300

方言地理学の視界

小林隆・大西拓一郎・篠崎晃一 [編]

定価 8,800 円(本体価格 8,000 円)

A5判上製カバー装・408頁
ISBN978-4-585-38003-0 C3081
2023年5月刊行

ことばの地域差や地理的変異は、 なぜ、どのように成立するのか。

ある方言を他の方言から独立した絶対的な存在であるとみなす方言学に対し、方言はあくまでも連続的な様相を示す相対的な存在であると考え、「方言地理学」。

故・佐藤亮一氏が開拓・提案した方言地理学の理論から、資料の生かし方、記述方言学との融合、文化・社会と方言との関係までを、隣接する民俗学や地理学などにも資する最新の成果を結集し体系的に紹介。

次世代へとつづく方言地理学の視界を照らし、
ひとつの道しるべとなる一冊!

方言学の根幹を問い直す 「方言地理学」の挑戦!

【編者プロフィール】

小林隆(こばやし・たかし)

東北大学名誉教授。専門は方言学・日本語史。
著書に佐藤亮一・小林隆・大西拓一郎編『方言地理学の課題』(明治書院、2002年)、『方言学的日本語史の方法』(ひつじ書房、2004年)、
『語用論的方言学の方法』(ひつじ書房、2023年)などがある。

大西拓一郎(おおにし・たくいちろう)

国立国語研究所教授。専門は言語地理学・方言学。
著書に『現代方言の世界』(朝倉書店、2008年)、『ことばの地理学
——方言はなぜそこにあるのか』(大修館書店、2016年)などがある。

篠崎晃一(しのざき・こういち)

東京女子大学教授。専門は方言学、社会言語学。
著書に『出身地(イナカ)がわかる方言』(共著、幻冬舎、2011年)、
『東京のきつねが大阪でたぬきにばける——誤解されやすい方言小辞典』(三省堂、2017年)、『それいけ!方言探偵団』(平凡社、2021年)
などがある。

【目次】

まえがき

第I部 方言地理学の理論

第1章:共通語化と方言地理学 ■小林隆・熊谷康雄
第2章:方言安定期と方言地理学 ■大西拓一郎
第3章:分布類型、形成類型と地理方言学 ■安部清哉

第II部 方言地理学の資料

第4章:『日本語地図』と方言地理学 ■岸江信介・峪口有香子
第5章:『方言文法全国地図』と方言地理学 ■日高水穂
第6章:『日本方言大辞典』と方言地理学 ■作田将三郎

第III部 記述方言学と方言地理学

第7章:形態論と方言地理学
——首都圏における対格の変異を例として—— ■小西いずみ
第8章:テンス・アスペクトと方言地理学 ■津田智史
第9章:可能・自発と方言地理学 ■竹田晃子
第10章:モダリティと方言地理学
——ゴト類の用法の多様性と山口東部方言の禁止の「コト」—— ■船木礼子
第11章:敬語の言語地理学
——日本語敬語形成論の構築にむけて—— ■中井精一

第IV部 文化・社会と方言地理学

第12章:民俗語彙と方言地理学——(井戸)を表す語彙—— ■新井小枝子
第13章:口承文芸と方言地理学——あやしことばの地域差—— ■椎名渉子
第14章:キリシタン文化と方言地理学 ■小川俊輔
第15章:言葉遊びと方言地理学
——岐阜県・愛知県のチーム分けジャンケン の掛け声を例に—— ■山田敏弘
第16章:あいさつと方言地理学
——他家訪問場面の新旧調査の比較を通して—— ■中西太郎
第17章:交通と方言地理学 ■都染直也

第V部 方言地理学の新分野

第18章:オノマトペと方言地理学 ■川崎めぐみ
第19章:感動詞と方言地理学
——品物を手渡す場面における感動詞の地理的分布—— ■田附敏尚
第20章:言語行動の地域差・山形県東田川郡三川町の事例 ■篠崎晃一
第21章:コンピュータと方言地理学 ■鎌水兼貴

佐藤亮一氏の時代と学問 ■沢木幹栄

佐藤亮一氏略歴
佐藤亮一氏著作一覧
執筆者一覧

書名	部数
方言地理学の視界	
小林隆・大西拓一郎・篠崎晃一 [編]	
定価 8,800 円(本体価格 8,000 円)	
A5判上製カバー装・408頁	
2023年5月刊行	
ISBN978-4-585-38003-0 C3081	部
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX 03-5215-9025

論究 日本近代語 第2集

日本近代語研究会 [編]

広義の日本近代語における歴史と構造を、
文字、文法、語彙といった
日本語学の観点から詳細に分析した、
日本文学、日本史学、日本語教育学、
表現論などの分野にも資する論文集。

日本近代語研究会

(にほんきんだいごけんきゅうかい)

1982年に「青年近代語研究会」として発足した(1984年1月から「近代語研究会」、2011年5月から現在の名称)、広い意味での近代語(室町時代以降の日本語)に関する研究者の集まり。年十回の研究発表会および『論究日本近代語』刊行の事業を行う。

定価 16,500 円(本体価格 15,000 円)

A5判上製カバー装・368頁
ISBN978-4-585-28522-6 C3081
2022年3月刊行

【好評既刊】

論究 日本近代語 第1集

日本近代語研究会 [編]

定価 16,500 円(本体価格 15,000 円)

A5判上製カバー装・424頁
ISBN978-4-585-28521-2 C3081
2020年3月刊行

第2集【目次】

- キリシタン版『サントスの御作業』の「言葉の和らげ」の編纂背景について
—巻1・巻2間の偏りに注目して— ■中野 遙
- 用例翻訳の疎密に見るキリシタン日本語文典の性格 ■黒川 茉莉
- 『虎明本狂言』と『狂言六義』における行為要求表現の対照 ■八坂 尚美
- 格助詞「ガ」の用法拡大の様相
—17世紀から明治大正期にかけて— ■山田 昌裕
- メテとユンデの語誌
—ミギノテ・ヒダリノテ・周辺語との関わりを中心に— ■木川 あづさ
- 『波留麻和解』に含まれる出現時期の早い訳語 ■櫻井 豪人
- 外国資料に見える日本語
—「ドゥーフ・ハルマ」の「蘭入ル、」について— ■浅野 敏彦
- 『英和对訳袖珍辞書』における宋朝体の漢字の考察 ■三好 彰
- 聖書翻訳におけるヘブライ語動詞連鎖の訳出
—「明治元訳」を中心に— ■遠藤 佳那子・高橋 洋成
- 『佳人之奇遇』の語彙 ■田貝 和子
- 稿本『言海』にみられる同音異義語の扱い ■小野 春菜
- 『新式いろは節用辞典』の「漢名」 ■今野 真二
- 犬養毅の読み方をめぐる『痴遊雑誌』誌上の論争について
—つよし・つよき・キ・たけし・たけき・しのぶ— ■三浦 直人
- 明治大正期『読売新聞』における「タ」の推移
—文章の種類の違いという観点から— ■ヤロシュ島田 むつみ
- 近代日本語の省略型行為要求表現の調査 ■陳 慧玲
- 近現代における副詞の仮名表記化 ■高橋 雄太
- 近代女性書簡文口語体化の契機と過程 ■茗荷 円
- 〈付帯状況〉を表す「形容詞+まま」の史的展開 ■菊池 そのみ
- 丁寧体過去形式「～ましたです」の動向
—「国会会議録検索システム」を例として— ■神作 晋一
- 日本語学習者と母語話者における
補助動詞「てもらう／ていただく」の使用実態 ■木下 謙朗
- 否定程度副詞の成立
—「1ミリも～ない」を事例として— ■柳橋 比早子
- 自動詞・受身・可能・自発
—自動詞の表現のパラダイグマティックな体系— ■志波 彩子
- 近代語と近世語の境目、近代語と現代語の境目
—漢字政策を軸として— ■小野 正弘
- 索引／執筆者一覧
- 編集後記 ■編集委員会

書名	部数
論究 日本近代語 第2集	部
日本近代語研究会 [編]	部
定価 16,500 円(本体価格 15,000 円)	
A5判上製カバー装・368頁	
2022年3月刊行	
ISBN978-4-585-28522-6 C3081	
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

論究 日本近代語 第1集

日本近代語研究会 [編]

創刊!

広義の日本近代語における歴史と構造を、
文字、文法、語彙といった日本語学の
観点から詳細に分析した、
日本文学、日本史学、日本語教育学、
表現論などの分野にも資する論文集。

日本近代語研究会

(にほんきんだいごけんきゅうかい)

1982年に「青年近代語研究会」として発足した(1984年1月から「近代語研究会」、2011年5月から現在の名称)、広い意味での近代語(室町時代以降の日本語)に関する研究者の集まり。年十回の研究発表会および『論究日本近代語』刊行の事業を行う。

本体 15,000円(+税)

A5判上製カバー装・424頁
ISBN978-4-585-28521-2 C3081
2020年3月刊行

第1集【目次】

創刊の辞 ■日本近代語研究会

連語から見た『徒然草』第1部・第2部

—接続機能表現のプレ近代化と文体— ■安部 清哉

キリシタン版辞書での同音異義と一語多義 ■豊島 正之

キリシタン版『日葡辞書』「序文」の二重印刷に見る編纂方針について ■中野 遙

ミギテの通時的考察

—「右の手」(右の方)を表す周辺語句の変遷との関わりを中心に— ■木川 あづさ

『雑字類編』の書き入れ語—「福恵全書」との関連を巡って— ■荒尾 禎秀

『語学新書』における格理解

—国学の言語研究をどのように取り入れたか— ■服部 紀子

明治期の漢字の「かたち」について—『天変地異』を資料として— ■今野 真二

『世界商売往来』の依拠資料について ■丸山 健一郎

[[校正/増補]漢語字類]における漢字字形のバリエーションについて ■内田 久美子

日本における「ウラジオストク」の漢字表記 ■シャルコ アンナ

『言海』校正刷における漢字字体/字形について ■小野 春菜

「續々金色夜叉續編」・「新續金色夜叉」の四種本文対照

—『讀賣新聞』、『新小説』、『紅葉全集』、『七版續々金色夜叉』— ■許 哲

日本統治期台湾の初等国語教科書における一人称代名詞

—国定教科書との比較を通して— ■山田 実樹

テキストアナリシスによる明治期日本語教科書『日語活法』の検証 ■伊藤 孝行

宏文学院の日本語教師編纂の会話教科書における謙讓表現

—『東語会話大成』を中心に— ■薛 静

台湾の日本語教育月刊誌『国光』(昭和7年創刊)における投稿文の資料性

—誤用と誤文訂正を中心に— ■園田 博文

日仏オノマトペの対照

—宮沢賢治『セロ弾きのゴーシュ』と*Gauche le violoncelliste*— ■瀬川 愛美

上田万年をマンネンと呼ぶは礼か非礼か

—近代日本における〈名の字音読み〉習俗の人称— ■三浦 直人

「わりに」[割合に]の歴史の変遷

—接続助詞用法と副詞用法の関連を中心に— ■川島 拓馬

丁寧体否定形式「～ませんです」の動向

—「国会会議録検索システム」を例に— ■神作 晋一

日本語教育における授受表現の効果的な教え方と

そこに見る日本人の「ウチとソト」感覚 ■木下 哲生

現代語における接続助詞の用法のトコロヲについて ■佐伯 暁子

職場の会話における副詞の使用—職場談話コーパスを調査資料として— ■吳 雨

「なるほど」考—応答表現としての意味・用法— ■蒔宿 紀子

現代語の副助詞デモの各用法について

—いわゆる「譲歩」「極端」と「例示」の関係について— ■星野 佳之

索引/執筆者一覧

編集後記 ■小野正弘

書名	部数
論究 日本近代語 第1集	
日本近代語研究会 [編]	
本体 15,000円(+税)	
A5判上製カバー装・424頁	
2020年3月刊行	
ISBN978-4-585-28521-2 C3081	部
ご送付先ご住所 (通信欄)	

宣教師の日本語文学

研究と目録

郭南燕（編著）

外国人宣教師の日本語著述に光を当てる

幕末から現代まで、多数のキリスト教の宣教師たちが日本を訪れ、膨大な書物を日本語で著述した。外国人宣教師はなぜ、日本語で書いたのか。

本書では、確認できた442名の宣教師が日本語で著した、約2700にも及ぶ文献を精査。

彼らの日本語使用の特色、ヨーロッパ思想の紹介、日本文化への寄与、日本人との協力を取り上げて、これまで等閑視されてきた「宣教師の日本語文学」という新分野の開拓を試みる。

宣教師の著書の書誌情報をまとめた「外国人宣教師日本語著作目録」を収録。

目次

第一部 研究篇

序章 外国人宣教師はなぜ、日本語で書いたのか ● 郭南燕

第一章 幕末・明治初期の日本語文学

第二章 仏人宣教師リギョールの政治論

第三章 カンドウ神父の著述

第四章 カンドウ神父の日本語

第五章 ホイヴェルス神父の日本語文学 ● 谷口幸代

第六章 キリスト教と禅

第七章 クラウス・リーゼンフーバー神父の著述と司牧の日本文化への貢献 ● 釘宮明美

第八章 遠藤周作と宣教師たちの交友

第九章 「日本語文学」試論 ● 新井菜穂子

宣教師作品抜粋

第二部 外国人宣教師日本語著作目録 ● 郭南燕

あとがき ● 郭南燕

執筆者紹介

索引

編著者プロフィール

郭南燕（かく・なんえん）

東京大学グローバルリーダー育成プログラム特任教授。

研究分野：日本近代文学、東アジアのキリスト教伝播。

著書に、『ザビエルの夢を紡ぐ』近代宣教師たちの日本語文学（平凡社、二〇一八）、共著に、『明智光秀と細川ガラシャ：戦国を生きた父娘の虚像と実像』（筑摩書房、二〇二〇）、編著書に、『ギリシタンが抱いた日本語文学』（明石書店、二〇一七）などがある。

定価 12,100円
本体 11,000円

A5判・上製カバー装・464頁
ISBN978-4-585-39026-8 C3095
2023年2月刊行

書名	部数
宣教師の日本語文学 研究と目録 郭南燕（編著）	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

定価12,100円(本体価格11,000円)
A5判・上製カバー装・464頁
2023年2月刊行
ISBN978-4-585-39026-8 C3095

近代日本語の形成と 欧文直訳的表現

【オンデマンド版】

八木下孝雄 [著]

弊社刊行のオンデマンド版は、
▶返品原則不可
▶納期は概ね10営業日後
何卒ご了承くださいませ。

本体 6,500 円(+税)

A5判上製カバー装・232頁
ISBN978-4-585-88040-0 C3081
2022年6月刊行

「バタくさい」文章は、どのようにして生まれたか？

近代、西欧の言語は、日本語の語彙・文法・文体等に大きな影響を与えた――。

とくに、欧文を直訳的に翻訳した表現は、新たな発想を促し、
表現構造を産むことで、日本語を活性化させてきた。

今もなお日本語に根付く欧文的直訳表現は、

外国語を受け入れるなかで、どのように生成・受容されてきたのか？

英語教育における欧文訓読を鍵に、文・句・文法のレベルで翻訳を捉え、
近代語の成立過程の一端を明らかにする。

❖欧文直訳表現とは…

「one of the …est／最も…のなかの一つ」、
「from the … point of view／…の見地からすれば」のように、
近代において、欧文を直訳したことであらわれたとされる
日本語表現のこと。

【著者プロフィール】

八木下孝雄 (やぎした・たかお)

1980年生まれ。国立国語研究所非常勤研究員、明治大学兼任講師、二松学舎大学非常勤講師、都留文科大学非常勤講師。

専門は国語学、特に明治期以降の外国語の翻訳からの表現の研究。

主な論文に「Self-Helpの明治期翻訳二種に見る訳出の様相――関係代名詞節を対象に――」(『文学・語学』207号、全国大学国語国文学会、2013年11月)、「近代日本語における欧文直訳的表現(特集 翻訳と日本語)」(『日本語学』35巻1号、明治書院、2016年1月)、「欧文直訳的表現について」(『日本近代語研究』第6巻、ひつじ書房、2017年3月)

【もくじ】

巻頭言 小野正弘
はじめに
序章

第1部 英語教育・英語学習における訳出法
第1章 New National 1st Reader における訳出法
第2章 New National 2nd Reader における訳出法
第3章 New National 3rd Reader における訳出法
第4章 第1部のまとめ

第2部 翻訳文における訳出法
第5章 The Boscomb Valley Mysteryの翻訳における訳出法
第6章 Self-Helpの明治期翻訳における訳出法
第7章 第2部のまとめ

第3部 翻訳以外の文章における欧文直訳的表現
第8章 夏目漱石の文章における欧文直訳的表現
第9章 芥川龍之介の文章における欧文的直訳表現
第10章 第3部のまとめ

終章
おわりに

書名	部数
近代日本語の形成と 欧文直訳的表現 【オンデマンド版】 八木下孝雄 [著]	本体 6,500 円(+税) A5判上製カバー装・232頁 ISBN978-4-585-88040-0 C3081 2022年6月刊行
ご送付先ご住所 (通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

【オンデマンド版】

近代日本語教科書 語彙索引

伊藤孝行 [編]

弊社刊行オンデマンド版は、
▶返品原則不可
▶納期は概ね10営業日後
何卒ご了承くださいませ。

定価8,800円／本体価格8,000円

A5判並製・376頁
2022年6月刊行

ISBN978-4-585-88002-8 C3081

近代日本語教科書には どのようなことが取り上げられていたのか

明治期から戦中期にかけて日本国内外で刊行された日本語教科書は、刊行当時のことが記録された「日本語史資料」として、また使用者のニーズを考慮しながら一定の規範となる日本語を映した「日本語教育史資料」として、日本語の歴史や教育の歴史を詳らかにする上で、看過することのできない重要な資料である。本書は、近代日本語教科書 10 種 15 冊の本文全文をテキスト化し、索引の見出し語として約 25,000 語を採用。

日本語史・日本語教育史をはじめとする諸分野研究に資する、
近代語資料の隙間を埋める一冊。

【本書の特色】

▶明治期から戦中期までに刊行された日本語教科書10種15冊の
本文全文をテキスト化し、それぞれの出現位置情報を明示。

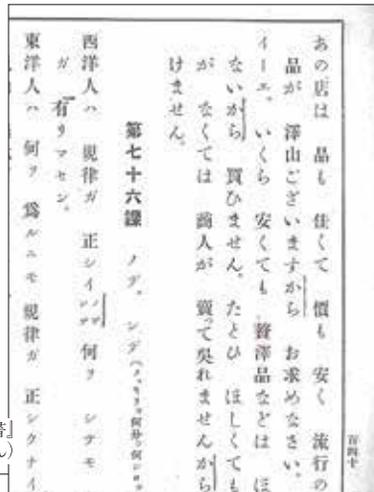
◎収録資料

- 金井保三(1904)『日語指南 壹』中国語母語話者向け
 - 金井保三(1905)『日語指南 貳』中国語母語話者向け
 - 宏文学院(1906)『日本語教科書 第一巻』中国語母語話者向け
 - 宏文学院(1906)『日本語教科書 第二巻』中国語母語話者向け
 - 宏文学院(1906)『日本語教科書 第三巻』中国語母語話者向け
 - 大宮貫三(1907)『日語活法』中国語母語話者向け
 - M. D. Berlitz(1919)『日本語教科書』英語母語話者向け
 - 東亜高等予備学校(1932)『日本語のはじめ一』中国語母語話者向け
 - 東亜高等予備学校(1932)『日本語のはじめ二』中国語母語話者向け
 - 東亜高等予備学校(1933)『日本語のはじめ三』中国語母語話者向け
 - 泉虎一(1938)『日暹会話便覧』タイ語母語話者向け
 - 三木栄(1940)『日泰会話』タイ語母語話者向け
 - モンコール・オンシクール(1941)『日泰会話』タイ語母語話者向け
 - 鉄道省国際観光局(1942)『日泰会話』タイ語母語話者向け
 - 国際文化振興会(1942)『NIPPONGO』タイ語母語話者向け
- ▶検索可能なテキストデータとしては未公開の資料群の語彙も検索可能。
▶複合語は後項部(後項語)からも調べることが可能。

【編者プロフィール】

伊藤孝行(いとう・たかゆき)

北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授。専門は国語学、日本語教育。
國學院大學大学院文学研究科博士課程後期修了。博士(文学)。タイ国立タマサート大学外国人専任講師、財団法人交流協会(現:公益財団法人日本台湾交流協会)日本語専門家、名桜大学講師・准教授・上級准教授、北海道大学留学生センター准教授を経て現在に至る。



宏文学院(1906)『日本語教科書』
(本書には掲載していません)

194	ソロエ【編】 [01-1] 82 [06] 16	ソロゾロ【徐々】 [02-2] 126 [03] 93	ソロソト [04] 131	ソロバン【節量】 [01-1] 145, 149	ソシ【節】 [01-2] 81 [02-3] 136 [03] 127 [10] 177	ソシ【材】 [05-3] 15	ソシ【辞】 [02-3] 105, 126, 160 [05-3] 9	ソシ【尊敬】 [03] 158 [10] 185	ソシ【尊称】 [10] 185	ソシ【保存知】 [03] 51 [02-1] 93 [09] 22	ソシ【扱】 [10] 177	ソシ【扱】 [02-1] 105, 142 [02-2] 27, 28, 56, 74 [02-3] 3, 138 [04] 109, 110, 112, 118, 126 [05-3] 15, 31 [06] 85, 86	タイク【体言】 [02-2] 72	タイクカ【体言】 [02-1] 105	タイチ【第一】 [02-1] 119 [02-3] 57, 63 [03] 119, 155 [04] 118 [05-3] 19 [06] 47, 72 [07] 99	タイチ【第一時】 [02-3] 157	タイチ【第一時】 [02-3] 157	タイチモジ【第一】 [04] 53	タイチモジ【第一】 [05-3] 37	タイチモジ【第吉】 [07] 99	タイチモジ【太陰】 [06] 32	タイチモジ【体温器】 [06] 38	タイチモジ【体温】 [06] 58, 61	タイチモジ【大会】 [02-3] 16, 67 [05-3] 19, 20	タイチモジ【臨時大会】 [02-3] 67	タイチモジ【大書】 [03] 97	タイチモジ【大書】 [01-2] 1, 2, 162 [02-1] 72, 130
-----	--------------------------------	-----------------------------------	------------------	-----------------------------	--	--------------------	---	--------------------------------	--------------------	--	-------------------	--	----------------------	------------------------	--	------------------------	------------------------	----------------------	------------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	--------------------------	---	--------------------------	----------------------	---

書名	部数
近代日本語教科書語彙索引【オンデマンド版】 伊藤孝行 [編]	部
定価8,800円／本体価格8,000円 A5判並製・376頁 2022年6月刊行 ISBN978-4-585-88002-8 C3081	
ご送付先ご住所(通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

日本人の読書

古代・中世の学問を探る

佐藤道生 [著]

人びとは何を読み、どのように学んできたのか——
古代・中世の日本において、書物を読み、解釈し、
伝えていくことは、限られた人びとにのみ許される
特権的な営みであった。

特に中国大陸ないしは朝鮮半島経由で伝えられた
漢籍(漢語で書かれた書物)は、国家を支える政治や法、

さらには思想や文化体系を伝える最先端のものとして重要視された。
中国の文化全般を学ぶことを目的とした

これらの学問——漢学——は、国家の制度のなかにも位置付けられ、
それを担う家では、書写・刊行された諸種の漢籍を入手し、

独自の学問を形成していった。

書物に残された注釈の書き入れ、来歴を伝える識語、
古記録や説話に残された漢学者の逸話など、

漢籍の読書の高まりをいまに伝える諸資料から
古代・中世における日本人の読書の歴史を明らかにする。

本書ではじめてフルカラー公開する資料

『清涼山伝』◎『文選集注』巻七断簡◎『文選集注』巻百十一断簡

金澤文庫本『文選集注』巻六十一残簡◎『論語』清原業賢書写・加點本

慶應義塾図書館蔵『論語』天文版清原枝賢加點本

『佐保類切』『施氏七書講義』断簡◎『佐保類切』『施氏七書講義』残簡

『道德経切』『老子道德経』断簡

著者プロフィール

佐藤道生(さとう みちお)
一九五五年生まれ。慶應義塾大学名誉教授。専門は古代・中世日本漢学。主な著書に『平安後期
日本漢文学の研究』(笠間書院、二〇〇三年)、『三河風来寺旧蔵曆応二年書写和漢朗詠集影印
と研究』(勉誠出版、二〇一四年)、『句題詩論考——王朝漢詩とは何ぞや』(勉誠出版、二〇一六年)、
『玉葉』に見られる課試制度関連記事の検討』(『変革期の社会と九条兼実——『玉葉』をひらく』
勉誠出版、二〇一八年)などがある。

目次

カラー口絵

◎本 篇

第一章 古代・中世日本人の読書

第二章 日本に現存する漢籍古写本——唐鈔本はなぜ読み継がれたのか

第三章 古代・中世漢文訓詁史

第四章 平安貴族の読書

第五章 藤原道長の漢籍蒐集

第六章 藤原兼実の読書生活——『素書』と『和漢朗詠集』

第七章 養和元年の意見封事——藤原兼実「可依変異被行攘災事」を読む

第八章 『論語疏』中国六世紀写本の出現

第九章 平安時代に於ける『文選集注』の受容

第十章 金澤文庫本『春秋経伝集解』、奥書の再検討

第十一章 室町後期に於ける『論語』伝授の様相

——天文版『論語』の果たした役割

第十二章 清原家の学問と漢籍

——『論語』を例として訓点と注釈書との関係を考える

第十三章 吉田家旧蔵の兵書

——慶應義塾図書館蔵『七書直解』等の紹介を兼ねて

第十四章 『佐保切』追跡

——大燈国師を伝称筆者とする書蹟に関する考察

第十五章 伝授と筆耕——呉三郎入道の事績

第十六章 『古文孝経』永仁五年写本の問題点

第十七章 猿投神社の漢籍古写本

——『史記』『春秋経伝集解』の書写者を探る

◎附 篇

第十八章 『朝野群載』卷十三の問題点

第十九章 日本漢学史上の句題詩

第二十章 『本朝麗藻』所収の積算詩——句題詩の変型として

第二十一章 藤原有国伝の再検討

第二十二章 大江匡房と藤原基俊

第二十三章 大江匡房の著作と『新撰朗詠集』

第二十四章 平安後期の文章得業生に関する覚書

第二十五章 『玉葉』に見られる課試制度関連記事の検討

第二十六章 平安時代の詩宴に果たした謝霊運の役割

あとがき／初出一覧／図版一覧／索引

貴重資料の
図版収録点数
総50超!

定価 13,200 円(本体 12,000 円)
A5判・上製カバー装・
504頁+カラー口絵16頁
ISBN978-4-585-39033-6 C3091
2023年9月刊行

書 名	部 数
日本人の読書 古代・中世の学問を探る 佐藤道生 [著]	定価 13,200 円(本体 12,000 円) A5判・上製カバー装 504頁+カラー口絵16頁 ISBN978-4-585-39033-6 C3091 2023年9月刊行
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

近世日本のキリシタンと異文化交流

アジア遊学 284

大橋幸泰 [編]

十六世紀に日本にもたらされた

キリスト教とヨーロッパの文化・思想は、既存の文化や思想に

どのようなインパクトをもたらしたのか。

日本のキリシタン禁制はどのように始まり、どのように終わったのか。

中国や朝鮮、東南アジアの布教は

どのように展開し、日本布教とどう関わったのか。

東アジア世界におけるキリシタンをめぐる

異文化の融合と摩擦の問題を、

内外の一次史料を用いて

日本史・東洋史・西洋史・科学史・思想史・

言語学の各方面から検討し、

中世末期から近世期の

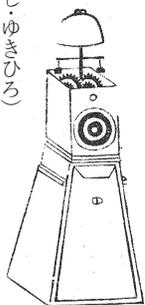
新たな時代像の構築を目指す。

【編者紹介】

大橋幸泰 (おおはし ゆきひろ)

早稲田大学教育・総合科学学術院教授。専門は日本近世史。

主な著書に『潜伏キリシタン 江戸時代の禁教政策と民衆』講談社、二〇一四年、講談社学術文庫に二〇一九年再刊、論文に『近世日本の民衆史研究―民衆運動・政治思想・身分認識をめぐる議論から属性論の射程を展望する』『民衆史研究』二〇二二、二〇二三年などがある。



どけい
自鳴鐘

【和漢三才図会】
国文学研究資料館蔵
CC BY-SA 4.0

【目次】

〈序文〉近世日本のキリシタンと異文化交流…大橋幸泰

第一部 ● キリシタンの文化と思想

キリシタンと時計伝来…平岡隆二

信徒国字文書のキリシタン用語

―「ばすとる」(羊飼)を起点として…岸本恵実

日本のキリスト教迫害下における「偽装」理論の神学的源泉…折井善果

〈史料紹介〉「キリシタンと時計伝来」関連史料…平岡隆二

第二部 ● 日本を取り巻くキリシタン世界

布教保護権から布教聖省へ

―バチカンの日本司教増置計画をめぐる…木崎孝嘉

ラインサーン王国に至る布教の道

―イエズス会日本管区による東南アジア事業的一幕…阿久根晋

パリ外国宣教会によるキリシタン「発見」の予見

―琉球・朝鮮・ベトナム・中国における日本再宣教への布石…牧野元紀

〈史料紹介〉南欧文書館に眠るセバステイアン・ヴィエイラ関係文書

―所蔵の整理とプロクラドル研究の展望…木崎孝嘉

第三部 ● キリシタン禁制の起点と終点

最初の禁教令―永祿八年正親町天皇の京都追放令をめぐる…清水有子

潜伏キリシタンの明治維新…大橋幸泰

長崎地方におけるカトリック信徒・非カトリック信徒関係の諸相

―「日本習俗」に関するロケニュー師の手記(一八八〇年頃)

を中心に…マルタン・ノゲラ・ラモス



【フィリピン諸島の征服】
第二部 稿本標題紙

定価 二、〇八〇円(税込)
本体 一、八〇〇円

A5判並製カバー装・二五六頁
二〇二三年七月刊行
ISBN978-4-585-32530-7 C1320

書名	部数
近世日本のキリシタンと異文化交流 [アジア遊学 284] 大橋幸泰 [編]	定価 3,080円(税込)・本体 2,800円 A5判並製カバー装・256頁 2023年7月刊行 ISBN978-4-585-32530-7 C1320
ご送付先ご住所 (通信欄)	

永平廣録 大全

『祖山本永平廣録』訓読・訳註・補注参究
ならびに解題・関連資料集

題字
大本山永平寺南澤道人禪師猗下御揮毫

●著者紹介

大谷哲夫 おおたに てつお

一九三九年東京都生まれ。早稲田大学一
文・同大学院修了。駒澤大学大学院満期
退学。曹洞宗僧侶(市ヶ谷長泰寺住職)・
仏教学者(専門は禅)。駒澤大学元総長
(第二十八代)・駒澤大学元学長(第二十
九代)・都留文科大学元理事長・東北福
祉大学前学長。主要著書に、『道元』永平
広録・上堂選(講談社学術文庫、二〇〇
五年)、『道元』宝慶記(講談社学術文庫
二〇一七年)など多数。

道元禪師の、まさに円熟された演法説示が収録されている『永平廣録』。道元のご示寂後、門
下の真摯な従者たちによって編集された『永平廣録』は伝統的な禅の語録の形態をとり、漢
文体によって構成されている。
本書では、原本『祖山本永平廣録』(全十巻)の正確な「訓読」と「訳」を提供する。また、その語
句に対する「語義注釈」、「出典考証」、各項の解説、さらに語義の詳細にわたる「補注参究」、本
書に関連する「基本的原典」等の関連書ならびに関連項目の小論・解題等も収載した決定版。

本書の構成

◎第一巻

はしがき 『永平廣録』をめぐるて
『永平廣録』に展開される仏法を単なる知
的遊戯にしないための用心

凡例

『永平廣録』第一

開闢本京宇治郡興聖禪寺語録 第一(上堂1~126)

〔補注参究〕／〔出典考証〕

◎第二巻

『永平廣録』第二

開闢越州吉祥山大佛寺語録 第二(上堂127~184)

〔補注参究〕／〔出典考証〕

『永平廣録』第三

永平禪寺語録 第三(上堂185~257)

〔補注参究〕／〔出典考証〕

◎第三巻

『永平廣録』第四

永平禪寺語録 第四(上堂258~345)

〔補注参究〕／〔出典考証〕

『永平廣録』第五

永平禪寺語録 第五(上堂346~413)

〔補注参究〕／〔出典考証〕

◎第四巻

『永平廣録』第六

永平禪寺語録 第六(上堂414~470)

〔補注参究〕／〔出典考証〕

『永平廣録』第七

永平禪寺語録 第七(上堂471~531)

〔補注参究〕／〔出典考証〕

道元小伝・道元年譜・訂補建撕記図会

◎第五巻

『永平廣録』第八

永平禪寺語録 第八

越州永平禪寺玄和尚(小参・法語・普勸坐禅儀)

〔小参〕(1~20)

〔法語〕(1~14)

〔普勸坐禅儀〕

〔補注参究〕／〔出典考証〕

◎第六巻

『永平廣録』第九

永平禪寺語録 第九 玄和尚頌古(1~90)

〔玄和尚頌古〕について

〔出典考証〕

◎第七巻

『永平廣録』第十

永平禪寺語録 第十 玄和尚真贊(自贊)・玄和尚偈頌

〔玄和尚真贊〕(1~5)・〔自贊〕(1~20)

〔玄和尚偈頌〕(1~125)

〔出典考証〕

◎第八巻

〔一〕『永平廣録』解題

〔二〕『永平廣録』の原典とその関連書

〔三〕『永平廣録』関連資料

〔四〕後序

索引

永平廣録 大全

『祖山本 永平廣録』訓読・訳註・補注参究
ならびに解題・関連資料集
大谷哲夫(著)

お名前・ご住所・お電話番号ほか

ご注文冊数

貴店番線印

定価71,500円(税込)

本体65,000円(+税)

2023年11月刊行

B5判・上製・全八巻(分売不可)・総3,000頁超

ISBN978-4-585-31017-4 C3015

注
文
書

株式会社勉誠社

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-18-4

TEL=03-5215-9021 FAX=03-5215-9025 E-mail=info@bensei.jp URL=https://bensei.jp/

※ご記入いただいた個人情報は、書籍の発送、お支払い確認、ご希望いただいた方への刊行案内をお送りするために使用し、それ以外での使用は致しません。

大谷哲夫 著

永平廣録 大全

『祖山本、永平廣録』訓読・訳註・補注参究
ならびに解題・関連資料集成

詳細パンフレット
ございます!

B5判・上製・総三〇〇〇頁超
全八巻揃い(分売不可)
ISBN978-4-585-31017-4 C3015
本体六五、〇〇〇円(十税)
定価七一、五〇〇円(税込)

株式会社勉誠社

国宝「三十帖冊子」

修理から見えてきたもの

最新の仏教学を学ぶために唐に渡った弘法大師空海が、

当地の仏教經典・儀軌を書写し、日本に隨身秘蔵してきた冊子本、国宝「三十帖冊子」。

第六世守覚法親王の時代より京都・仁和寺にて尊ばれ、伝持されてきた同書は、

空海の入唐中の学問のありかたを伝える密教将来の至宝として、

また、空海や橘逸勢ほか、多くの唐の写経生がその書写に関わり、

かつ冊子のかたちとして最も古い装訂とされる粘葉装（てんじようさう）の日本最古の例として、

文化財としても特筆すべき意義を有している。

国宝「三十帖冊子」は、どのように守られ、伝えられてきたのか。

六か年の歳月をかけて行われた修理により見えてきた新知見を多くのカラー図版とともに紹介。

さらには、三十帖冊子の伝来と流転、經典読誦の実態、空海の学問と書、

非破壊資料紙分析の新知見、文化財修理のこれまでとこれから等、

多角的な観点から「三十帖冊子」を把握する決定版。

掲載図版点数三〇〇点超！

刊行にあたって 総本山仁和寺門跡真言宗御室派管長 瀬川大秀
序言——本書の概要 宇都宮啓吾

第一部 修理・書誌篇

国宝「三十帖冊子」修理報告——修理の概要と調査報告 株式会社松鶴堂

「三十帖冊子」の修理を振り返って 株式会社松鶴堂（書跡担当課 森川洋子）

「三十帖冊子」の料紙に残された痕跡の伝えるもの
——保存修理の視点から 鈴木裕

装訂や料紙から見た国宝「三十帖冊子」 赤尾栄慶

コラム 空海の書——唐からの贈り物 銅島稲子

「三十帖冊子」を飾る染織品 山川曉

料紙を観る——写本学と光学的調査からのアプローチ
——石塚晴通・赤尾栄慶・江南和幸・岡田至弘

コラム 文化財情報プラットフォーム
——金剛寺蔵「梵漢普賢行願讃」をめぐる 宇都宮啓吾

第二部 典籍篇

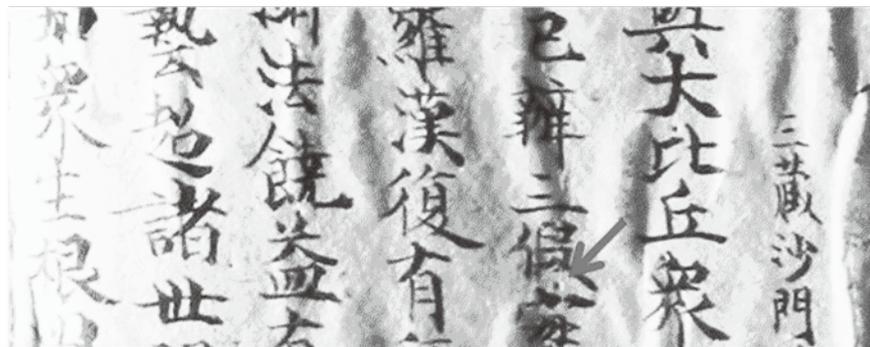
「三十帖冊子」の借覧と返納をめぐる 武内孝善

「三十帖冊子」の仁和寺移動と仁和寺伝持の歴史 朝川美幸

空海将来経論の書写をめぐる
——「三十帖冊子」に関連して 苦米地誠一

仁和寺蔵「三十帖冊子」の訓点から
観た漢籍訓読の一問題 宇都宮啓吾

典籍保存修理の歩み——昭和から令和へ 鈴木裕



定価 三三、二〇〇円(税込・予価)
本体 二二、〇〇〇円(十税)
二〇二三年十一月刊行
A5判上製カバー装・三三六頁
ISBN978-4-585-31012-9 C3015

宇都宮啓吾 編

(うつのみや、けいご) 1966年生まれ。大阪大谷大学文学部教授。専門は日本語学、仏教典籍学。著書に『中世国語資料集』(龍谷大学善本叢書33)(共著、思文閣出版、二〇一七年)、『西教寺所蔵 円測撰 無量義経疏』(分担執筆、東国大学校仏教学術院、二〇一八年)、『四天王寺聖教の世界』(四天王寺宝物館令和三年秋季特別展図録)(監修・執筆、四天王寺勸学部、二〇二二年)などがある。

書名	冊数
国宝「三十帖冊子」 修理から見えてきたもの 宇都宮啓吾[編]	冊数
ご送付先ご住所(通信欄)	

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 FAX03-5215-9025 http://bensei.jp/

紫式部の活躍した時代の男性の文学(漢詩文)を読む。

平安時代の寛弘年間(一〇〇四〜一〇一三)、

紫式部や清少納言の時代に編纂された、宮廷官僚詩人の漢詩文集『本朝麗藻』の注釈書。

『本朝麗藻簡注』(勉誠社、一九九三年)を全面的に改訂し、作品の内実に迫ることができるよう、漢詩文の構成や平仄、漢語の「語性」に注意を払って解説した。

本朝麗藻詳注

柳澤良一 著

(りやうさわらわ・りょういち)
金沢大学大学院修士課程修了。金沢学院大学名誉教授。主な著書に『本朝麗藻総索引』(勉誠社、一九九三年)、『統撰和漢朗詠集とその研究』(和泉書院、二〇〇一年)、『石川県立図書館蔵 川口文庫善本影印叢書』全三巻(勉誠出版、二〇〇八年〜二〇一〇年)、『新撰朗詠集全注釈』全四巻(新典社、二〇一一年)、『和漢朗詠集・新撰朗詠集』(佐藤道生と共著 明治書院、二〇一一年)、『菅家後集の研究』(汲古書院、二〇一二年)など。

二〇二三年
十月刊行

定価 30,800円(税込)

[本体28,000円]

B5判並製カバー装・928頁

ISBN978-4-585-39030-5 C3091

勉誠社

本文

上巻は尊経閣文庫蔵金沢文庫旧蔵本、下巻は尊経閣文庫蔵建曆三年清寛
加点的奥書をもつ江戸初期の写本を底本とした。
底本の明らかな誤りや欠佚、判読不能の箇所はその他諸本によって補った。
利便性を考慮し、通し番号のほか、返り点・句読点を付した。

通解

原文の理解に役立つ「通解」を掲載。作品には、比喩や見立てなどの
表現を使って詩のイメージをふくらませているものが多数見られる
ので、詩のイメージを損ねないように言葉を選んだ。

1 春

三月三日、侍・宴同賦三間「柳発」紅桃、応製。へ以春
為韻。 儀同三司

三日花朝和暖辰
紅桃間柳発粧新
烟濃纒透綏山月
黛動半蔵曲水春
碧玉簾中裁錦妓
青羅帳後拳燈人
震遊如舊群臣醉
醉意詠歌魏代塵

【通解】

春
三月三日、上巳の節句、曲水の宴に伺候し、皆で「柳に間はつて紅桃発く」（青柳に交じわって紅の桃花が咲く）の詩題で詩を作り、勅命にお応えして詠進する。「春」字を韻字とする。

花の咲いている三月三日の朝は、穏やかで暖かな日和で、桃の紅色の花は、青柳に交じわって咲き、今、新たに化粧をしたばかりのようである。

夕暮れになって、春の鶯が濃くたちこめる頃、そのとたんに桃で有名な綏山から月が出てきて、柳の間から透けて見える。

揺らめく青柳に半ば隠れて桃の紅色の花が見え、今を盛りとする曲水の春景色は美しい。

辺りの情景は、あたかも碧玉の御簾の内にあでやかな錦の晴着を仕立てて着ている舞姫が、かすかに見えるかのようであり、また、青色の薄絹の帳の後ろで、燈火を持つ人が、ほのかに見えるかのようである。

このすばらしい宴は旧に復したかのごとく華やかで、我々群臣はみな快く桃花の酒に酔っている。

この酔い心地、この詩歌を詠む宴は、魏の時代の曲水の宴をそのまま受け継いでいるのではないかと思われる。

校異

本朝麗藻諸本との校異を示す。底本の本文と異なる場合はすべて掲出した。

【校異】

底ナシ。群・新・全・紀によって補う。
◇春「私」にかりに補う。◇応「製」群活・全「応製」。◇儀同三司「群・新」儀同三司の右旁「伊周」。全「儀同三司」「伊周」。紀「藤原伊周」。
◇後「紀」裡。◇震「紀」哀。

訓読

底本の訓読をできるだけ尊重したが、最新の研究成果を参照して改めた箇所もある。

【訓読】

三月三日、宴に侍りて同しく「柳に間はつて紅桃発く」といふことを賦し、製に応へまつる。「春」を以て韻と為す。 儀同三司
三日 花の朝 和暖の辰
紅桃柳に間はつて粧ひを発くこと新たなり
烟濃やかにして纒かに透きたり 綏山の月
黛 動きて半ば蔵れたり 曲水の春
碧玉の簾の中 錦を裁つ妓あり

本朝麗藻

（ほんちよう・れいそう）漢詩文集。高階積善撰。全二五四首の詩を収録。春・夏・秋および雑題で構成される。約三〇年間という短い期間の作品を集め、漢文学繁栄の様子を伝える。天皇・親王主催の詩会を収める一方、山荘や寺院における詩もおおく収録する。

注文書
本朝麗藻詳注
柳澤良一＝著
ご送付先ご住所(通信欄)

ご注文冊数
定価 **30,800**円(税込)
【本体28,000円】
2023年10月刊行予定
B5判並製カバー装・928頁
ISBN978-4-585-39030-5 C3091

書店番線印
ご担当者様

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫〈編〉

改訂新版

図説

書誌学

古典籍を

学ぶ

「書物」という文化遺産の継承のために

有史以来蓄積されてきた「書物」は、人間の英知・思想・思考・情感といった精神活動が、最も明瞭に集約表出されたかたちで伝承されてきた、学術文芸の遺産である。

この「書物」は、なぜここにこのように存在するのか——「書物」との真摯な対話により、過去から現在、そして未来へと連なる人間の知的営みの一端に自らリンクすることが出来るのである。

定価三、八五〇円(税込)

本体三、五〇〇円(十税)

二〇二三年一月刊行

A4判並製カバー装・総カラー・二二四頁

ISBN978-4-585-30010-6 C1500

※本書は『図説 書誌学』(二〇一〇年初版発行)の改訂新版です。改訂新版刊行に際し、誤字・脱字等の訂正を施しました。



I 書物との対話——書誌学研究の視点

はじめに——書誌学とは

第一章 本の姿

表紙の役割／紙墨の表情／書物の形／変化する書物

第二章 本の様々

漢籍と和書／漢字と仮名／文字と絵／コトバとモノ

第三章 本の誕生

誕生以前／自筆本／転写本・影写本・臨写本

第四章 本の流通

版下・校正刷り／翻刻本／摸刻本／伝写本

第五章 版本の時代

宋元版／明清版／朝鮮版・越南版／五山版・古活字版／和刻本

第六章 本の再生

付点・書入れ・批評／校合／入門書・工具書

第七章 書誌学の発達

目録学の発達／版本学の発達／考証学と近代

II 斯道文庫の五十年——これまでとこれから

・ 斯道文庫の五十年

・ 書物の収集と保全

・ 椎本文庫／浜野文庫／安井文庫／坦堂文庫／コレディエ文庫／亀井家学文庫／明治仏教史編纂所蔵書／センチユリー文化財団寄託資料／大曾根文庫／河村文庫／平岡文庫／松林桂月文庫／林泰輔自筆稿本類／ガスパルトス文庫／永島文庫／戸原文庫

・ 斯道文庫年表

・ 斯道文庫蒐書の歴史

・ 出張調査年表

・ 研究事業・研究成果・公開事業

・ 執筆者一覧／書誌学用語索引

本書の特徴

昭和三五年(一九六〇)の開設以来、書誌学の専門研究所として学界をリードしてきた斯道文庫所蔵の豊富な古典籍の中から、特に書誌学的観点から重要なものを選出、豊富なカラー図版・解説を通覧することで、書誌学の理念・プロセス・技術を学ぶことが出来る。



<p>書名</p> <h2>改訂新版 図説 書誌学</h2> <h3>古典籍を学ぶ</h3> <p>慶應義塾大学附属研究所斯道文庫〈編〉</p>	<p>冊数</p> <p>定価 3,850円(税込)・本体3,500円</p> <p>A4判並製カバー装・224頁</p> <p>2023年11月刊行</p> <p>ISBN978-4-585-30010-6 C1500</p>
<p>ご送付先ご住所(通信欄)</p>	

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 FAX03-5215-9025 <http://bensei.jp/>